

登場人物

少女・・・ハナコ

妹・・・モモコ

天狗・・・天狗

カブトムシ・・・ヘラクレス

友達・・・友達

後輩・・・田中

チョウ・・・チョウ

カマキリ・・・カマキリ

アリ・・・アリ

トンボ・・・トンボ

カタツムリ・・・カタツムリ

山の神・・・山の神

海の神・・・海の神

おじさん・・・おじさん

スペランカー・・・スペランカー

OP・はじまり

妹が一人。壁に絵を描いている。描かれる絵は雑多で、とりとめがない。絵は部屋全体に描かれてぐちゃぐちゃだ。真っ白だった部屋はカラフルなような、濁っているような色合いに包まれる。

Ⅰ・引きこもり少女

漫画やゲーム、食べかけのカップ麺などが散乱した汚い部屋。そこに一人、少女がいる。少女はファミコンに興じている。

少女
……

食い入るようにファミコンとにらみ合う少女。と、その時、窓を突き破ってカブトムシが突っ込んでくる。その大きさはゆうに2mを超えており、かなり強そう。2本足で立っている。

少女
ええええええええええ！　なにになになになに？？？

少女、パニック。カブトムシは部屋を物色して食べ物を見つけては食べている。

少女
え、ちょっと、何してるんですか？

カブトムシ、聞く耳を持たない。というかカブトムシには耳がない。どうにかコミュニケーションをとろうとする少女。全然とれない。と、今度は壁を突き破って天狗がやってくる。

少女
ええええええええええ！

天狗
ああ！　いた！

天狗、カブトムシを捕まえる。カブトムシかなり暴れる。口からビームを出す。

少女 ええええええええええ！

天狗 よーしよしよし。いいこいいこ。

天狗、なんとかカブトムシをあやす。

天狗 あ、この家の方ですか？

少女 え、あ、はい。

天狗 なんか、うちのヘラクレスがご迷惑をおかけしたみたいですみません。

少女 え、あ、いや、、、

天狗 壁とか壊しちゃったし、、、

少女 あ、でも、なんか、、、はい、、、

天狗 あのアタシ、天狗っていいいます。

少女 え？

天狗 え？

少女 天狗って、、、

天狗 天狗です。妖怪の。

少女 あ、ああ。天狗、、、

天狗 で、こっちがヘラクレスです。

少女 ヘラクレス、、、

天狗 散歩してたら逃げ出しちゃって。

少女 へー。

天狗 元氣すぎて困っちゃいますよね？

少女 え？

天狗 いやー、でも、見つかってよかった。

少女 あ、はい。

天狗 お名前は？

少女 え？

天狗 名前。

少女 あ、ハナコです、、

天狗 ハナコさん。

少女 はい。

天狗 いい名前ですね。

少女 ありがとうございます、、

天狗 それにしてもかなり散らってますね。

少女 え、あ、いや、

天狗 なんか匂いも、、

少女 え、臭いですかね？

天狗 いや(笑)

少女 ……

天狗 あ、お礼と言ってはなんですけど、アタシ片付けましょうか？

少女 え、

天狗 掃除得意なんです！

天狗、部屋を片付け始める。カブトムシは何かしらしてずっと遊んでいる(外の猫と戦ったり)

少女 え、ちょっと、

天狗 はい？

少女 片付けとか大丈夫なんで。

天狗 でも、

少女 ホントに大丈夫なんで。

天狗 散らかってると嫌じゃありません？

少女 散らかってる方が落ち着くんで。

天狗 ああ、、

少女 はい。だから、あの、早く、帰ってもらっていいですかね？ アタシ、スペラ

ンカーの続きしなきゃなんで、

天狗 スペランカー？

少女 あ、ゲーム。

天狗 あ、ゲーム。

ファミコンの電源が切れている。

少女 あれ？

天狗 え？

少女 切れてる、、

天狗 え、

少女 え、マジで？ え、嘘でしょ？ 嘘！ え、電源切れてるんだけど！

天狗 ヘラちゃんに暴れた時ですかね？

少女 ですかね？じゃないでしょ！

天狗 え？

少女 え？じゃなくて！ やっと一面クリアできそうだったんだよ？

天狗 一面？

少女 そう。一面。

天狗 (笑)

少女 え、ちょっと馬鹿にしてる？

天狗 してないですよ(笑)

少女 してるでしょ！

天狗 だって、一面って(笑)

少女 スペランカー知らないからそんなこと言えるんだよ！？ スペランカーがど
んどけひ弱か知ってる？ このくらいの段差で死ぬんだよ？

天狗 これくらいで死ぬわけないでしょ(笑)

少女 死ぬんだよ！

天狗 そんなに怒らなくても、、

少女 怒るよ！ いきなりやってきてなんなの！ 壁は壊すし、電源は切るし、勝
手に片付けようとするし！

天狗 いや、

少女 天狗とか意味わかんないから！ 出てってよ！

天狗 ……

少女 ……

天狗 ハナコさん、、

少女 ……何？

天狗 甘ったれんなー！！

少女 えー、、、

天狗 さっきからなんなんですか？

少女 なにって、、、

天狗 アナタ引きこもりですね？

少女 そうだけど、、、

天狗 アタシ引きこもりが大ッ嫌いです！

少女 えー、、、

天狗 引きこもりの人は末代まで呪われて欲しいです。

少女 えー、、、

天狗 今から呪詛かけます。

少女 え、ちよつと、

天狗、儀式を始める。少女、必死に止める。

少女 ちよつと！

天狗 ……天狗たちはもうずっと森の中に引きこもって暮らしてきました。

少女 え？

天狗 引きこもりたくなかった。けど、人間に見つかれば、天狗たちは消されます。

少女 いや、そんなことは、、、

天狗 もう何人も消されました！

少女 えー、、、

天狗 なのにアナタは人間のくせに外にも出ないでゲームばかりして、今どきファミコンだし、、、

少女 ファミコンすごいんだよ？

天狗 どうでもいいです！ せっかくのお散歩が台無しです！

少女 え、

天狗 天狗帰ります！

少女 え、ちよつと、

天狗、帰る。

少女 えー、、、

少女、カブトムシと目が合う。カブトムシ、威嚇。少女、ビビる。カブトムシ、ウロウロする。

2・スペランカー

スペランカー来る。スペランカー段差から落ちる。ゲームオーバー！。

3・先月

昼休み？ 教室？ 妹と友達がいる。何かゲームのようなことをしている。盛り上がっている。終わる。

友達 モモちゃんマジセンスあるよ！

妹 ないよ(笑)

友達 モモちゃんの考えるゲームなんかすごいもん！

妹 こんな誰でも思いつくよ。

友達 そんなことないよ！

妹 あ、そういえば、書いてきたよ。

友達 え、マジで！

友達 うん。

友達 え、見せて見せて。

妹 まだテキトーだけど。

友達 えー、すごいよ！

妹 そうかな？

友達 モモちゃんマジセンス！ マジセンスだよ！

妹 なにそれ(笑)

友達 モモちゃんとならテッペン取れる気がする！

妹 テッペン？

友達 文化祭の！

妹 ちっちゃ(笑)

と、雨が降ってくる。

友達 あ、ねえ、雨。

妹 ホントだ。

友達 えー、傘ないよー。

妹 アタシもー

雨の音。

友達 次なんだっけ？

妹 地学。

友達 えー、だるー。

妹 えー、面白いじゃん。

友達 面白くないよー

妹 星の話ロマンチックじゃん。

友達 そうかなー

妹 そうだよー

友達 ほら、早く行こ。

妹 あ、うん。

友達 帰りまでにやむかな？

妹 どうだろ？

二人、教室を去る。間。雨の音が続いている。

深い深い森の中。雨がしとしと降り続いている。小さな天狗が一人ぼっちで遊んでいる。森はとても暗い。でも、天狗は楽しそうに遊んでいる。木から雫が垂れる。花も草も全て濡れている。地面はぬかるんで歩きづらい。天狗の足跡が残る。水溜りに足を入れてみる。泥水がはねて、波紋が広がる。バシャバシャと足踏みをする音が森に響く。天狗は楽しそうに一人で遊んでいる。雨はまだしとしと降っている。

5・人形劇

木々の生い茂る森の中。虫たちが楽しそうに遊んでいる。

チョウ 今日も森はいい天気ねー

カマキリ 太陽がサンサンだー

アリ 今日は何して遊ぶー？

カタツムリ かくれんぼがいいんじゃない？

トンボ かくれんぼは昨日したよ。おいかけっこは？

カブト 絶対トンボ君が勝つよー

カタツムリ そうだそうだー。

トンボ えー

アリ 砂糖を運ぶのは？

カタツムリ それは仕事だろー

カブト どさくさにまぎれて働かせないでよー

トンボ アリはホントにブラックだなあー

カタツムリ あれ？ カマキリ君何してるの？

カマキリ、チョウを食べている。

カマキリ あ、

カブト あ、じゃないよーダメだよチョウチョ食べちゃー

カマキリ またやっちゃったよー

トンボ 何匹目だよー

カマキリ やっぱリヒラヒラされてるとさー本能で手が出ちゃうんだよねー

アリ まあ、そりゃそうだよねー

カタツムリ 虫としての性だよね。

トンボ カタツムリは虫じゃないけどね。

突然の揺れ。

アリ う、うわああああ

カマキリ なんなんだ！

カブト ゆ、揺れてる！

カタツムリ い、いきなりなんだ！

トンボ あ、あれ見て！

山の神様が出てくる。

カタツムリ や、山の神様だ！

アリ しかも、なんかかなり怒ってるぞ！

山の神 うおおおおおお！

カマキリ うわああああ

カタツムリ どうしてあんなに怒ってるの！

トンボ わかんないよー

カブト こ、こんなこと今までなかったのに！

アリ あ、あっち見て！

海の神が出てくる。

海の神 うおおおおおお！

カマキリ う、海の神様だああああ！

カブト 海の神様までなんで！

山と海の神、暴れる。

カマキリ うわあああああ！

トンボ こ、このままじゃ地球が壊れちゃうよ！

山の神 うおおおおおおお！

カタツムリ うぎゃあああああああ！

カタツムリ、絶命。

カブト カタツムリ君！

カマキリ カ、カタツムリがやられた、、

アリ と、とりあえず早く逃げよう！

海の神 うおおおおおおお！

アリ うぎゃあああああああ！

アリ、絶命。

カブト アリくん！！

カマキリ ア、アリまで、、もうだめだ、、

カブト カマキリ君諦めちゃダメだよ！

トンボ そうだ！ 諦めちゃダメだ！

カマキリ でも、逃げられるはずないよ！

トンボ 逃げられないなら、やるしかないだろ。

カマキリ え、、

トンボ 俺のスピードなら、、

カブト トンボ君、、

トンボ 大丈夫だって。

カブト でも、、

トンボ カブト、俺の夢、教えてやるよ。

カブト ……夢？

トンボ 俺の夢はな、虫たちの、、歯医者さんだ！

トンボ、特攻。

トンボ うぎゃあああああああ！

トンボ、絶命。

カブト トンボ君、、

カマキリ お、終わりだ、、

山と海の神、止まらない。地球はどんどん壊れていく。

カブト どうしたら、、

カマキリ カブト君、

カブト ？

カマキリ サヨナラ、、

カマキリ、自らの鎌により自害。

カブト 嘘、、カマキリ君、、

地球の崩壊は続く。

6・おじさんと妹

夕方。帰り道。ギターを持って、妹が歩いてくる。おじさんが道でタバコを吸っている。

妹 あ、おじさん。

おじ あ、モモちゃん、久しぶり。

妹 久しぶり。

おじ 帰り？

妹 うん。

おじ こんな時間に？

妹 文化祭でライブやるからその練習。

おじ へー。バンド？

妹 ううん。お笑い。

おじ え？ それは？

妹 歌ネタだから。

おじ へえー。

妹 相方もいるんだよ。

おじ へえー。楽しい？

妹 うん。

おじ 青春だねえ。

妹 そんな言葉で片付けないでよ。アタシらテッペン目指してるんだから。

おじ テッペンかー

妹 おじさんは何してんの？

おじ 何してんだろうね？

妹 お父さんが心配してたよ？

おじ 兄貴も変わらないなー

妹 仕事は？ 見つかったの？

おじ 仕事かー。懐かしいなー。

妹 つい三ヶ月前じゃん。

おじ いやあ、いいよー仕事は。有意義で。

妹 お刺身にたんぼぼのせてただけでしょ？

おじさん、タバコを一息吸う

おじ アメスピってなんかマズイよね。

妹 じゃあなんで吸ってるの？

おじ おじさんシカゴ生まれだから。

妹 埼玉育ちじゃん。

おじさん、タバコを一息吸う。

妹 おじさんって、なんか適当だよな。

おじ そうかな？

妹 そうだよ。

おじ そういえばハナちゃんは元気？

妹 お姉ちゃん？

おじ 一緒に暮らしてんじゃないの？

妹 話さないし。

おじ 仲悪いの？

妹 お姉ちゃん引きこもりで部屋出ないから。

おじ へー。あんなに元気だったのにね。いつも一緒に遊んで。

妹 子供の頃でしょ？

おじさん、タバコを一口吸う。

妹 おじさんって、何も思わないの？

おじ 何が？

妹 なんにもしないでばーっとして。なんかもっと頑張ったりしないの？

おじ 厳しいこと言うね。

妹 人生無駄にしてない？

おじさん、タバコを一息吸う。

おじ あのさ、

妹 うん。

おじ アメスピのパッケージって、アメリカンっていう割にはどう見てもインディア
ンだよな。

妹 ……え？

おじ これじゃインディアンスピリットだよ。
妹 は？

おじさん、タバコを一息吸う。

おじ やっぱマズイわ。モモちゃんいる？

妹 いや、未成年だし。

おじ まあまあ、遠慮しないで。

おじさん、タバコの箱を妹に渡す。

おじ じゃあおじさん帰るから。モモちゃんも気をつけて。

妹 え、

おじさん、去る。

妹、残ったタバコの箱を少し見て、ポケットに押し込み、歩き出す。

7・絵描き歌

天狗がやって来る。絵かき歌を歌う。天狗、去る。

8・タバコ

山と海の神が暴れ、地球は崩壊寸前。生き物は死に絶え、残ったのはカブトムシただ一匹。

カブト ああ、、、、終わりだ、、、、この世の終わりだ、、、、

と、カブトムシが諦めかけたその時、空から光が降ってくる。

カブト な、なんだ！ うわああああ！

と、光を浴びたカブトムシ、巨大化。

カブト うおおおお！

カブトムシ、口からビームを出したりして山と海の神を蹴散らす！

カブト うおおおおおー！！

と、それを見ている少女。

カブト で、一人になってたところを天狗ちゃんに拾われたんですよ。

少女 ヘー。っていうかアンタめっちゃ喋れるんだね。

カブト はい。

少女 なんてあの子とは喋らないの？

カブト なんか天狗ちゃん、最初から話せない設定で話しかけてきたんで、合わせてるうちに言いづらくなっちゃって。

少女 びっくりするだろうね。話しかけたら。

カブト だと思えます。

少女 これからどうするの？

カブト とりあえず天狗ちゃん探してきます。

少女 そっか。

カブト はい。

少女 なんかごめんね。

カブト いやいや。

少女 まあ、自分でもわかってるんだけどね。このままじゃいけないこと。

カブト ずっと一人だったんですよ、天狗ちゃん。天狗なんてもうほとんど残ってないし。若い子なんて天狗ちゃんしかいなくて。

少女 アンタ、さっきと全然キャラ違うね。

カブト （はにかみ）

少女 はあーあ

少女、タバコに火をつける。

カブト あ、吸うんですね。

少女 意外？

カブト そうですね。アメスピですか？

少女 うん。好きだった親戚のおじさんが、昔吸ってて。かっこいいなーと思って。

カブト 初恋ですか？

少女 ……かもね(笑) なんか影がある感じで憧れてた。

カブト へー。

少女 それ(ファミコン)もおじさんからもらった。

カブト スペランカーすぐ死にますよね。

少女 アンタ、やったことあるの？

カブト 友達の家でちよっと。

少女 どこまでいった？

カブト 一面もクリアできなかったです。

少女 弱すぎるよね。

カブト アレより弱い奴はなかないですね。

少女 ホントに。

少女、タバコを一息吸う。

カブト それ、自分で買うんですか？

少女 いや、お父さんの部屋からパクってきてる。

カブト へー。

少女 自分で買いに行けたら、引きこもりとかしてないよ(笑)

カブト (愛想笑い)

少女 これでも、昔はめっちゃ活発な子だったんだよ。

カブト そうなんですか？

少女 妹がいるんだけど、二人でずっと外で遊んだりして。

カブト へー

少女 家の外に堀あるでしょ？

カブト (外を見て)はい。

少女　今は白いけど、あそこに絵描くのが好きで。

カブト　へー。

少女　星とかいっぱい描いて、あまのがわー！とか言って。

カブト　へー。

少女　お父さんにめっちゃ怒られたけど(笑)

カブト　妹さんと仲いいんですか？

少女　昔はね。今は全然話さないけど。

カブト　そっか。

少女　あ、でもこの前久しぶりに話したわ。

カブト　なんて？

少女　話したっていうか一方的に怒られた。部屋が臭いって。

カブト　あー

少女　そんなに臭い？

カブト　はい(笑)

少女　そっかー。

カブト　意外に自分だとそういうのって気づかないですよね。

少女　確かにねー。

少女、タバコを一息吸って、火を消す。

少女　アタシも行くよ。

カブト　え？

少女　アタシも探すよ。

カブト　いいんですか？

少女　うん。

カブト　ありがとうございます。でも、大丈夫ですか？

少女　……どうだろ？　わかんない(笑)　でも、行ってみる。

と、天狗がやってくる。

少女　あれ、帰ったんじゃない、

天狗 あ、いや、途中でヘラちゃん忘れたのに気づいて、、でも、戻ったらなんかすごい入りづらい空気だし、ヘラちゃんめっちゃ喋ってるし、わけわからなくて、、

少女 ああ、、

天狗 あ、の、さっきはすみません、、

少女 あ、こちらこそ怒鳴っちゃって、、

天狗 いやいや。ヘラちゃんも、アタシ、全然気づかなくて、、

カブト いや、こっちこそ、、

天狗 ううん、、

カブト でも、ひとつだけ言いたいことがあって、

天狗 うん。

カブト 俺、ヘラクレスじゃなくて、コーカサスオオカブトなんだ。

天狗 え、

カブト ヘラちゃんじゃなくて、コーちゃんだから。

天狗 ……ごめん

間。

天狗 ……じゃあアタシたちそろそろ帰ります。

少女 あ、ああ。

天狗 本当にありがとうございます。

少女 いやいや、

天狗 壁すみませんでした。

少女 いや、、、、

天狗 じゃあ、

少女 あ、

天狗 ？

少女 コレ。

少女、ファミコンを天狗にあげる。

少女 アタシにはもう必要ないから。

天狗 え、

少女 よかったら、、

天狗 あ、うちテレビないんで、、

少女 え、ああ、、

天狗 すみません、、

少女 いや、、

天狗 ……

少女 ……

天狗 じゃあ、

少女 あ、じゃあ。

天狗、カブトムシ、去る。少女、ファミコンを持ったまま遠くを見ている。

9・スペランカー2

スペランカー来る。スペランカー段差をジャンプ！ セーフ！ スペランカー歩き出す。落ちてた箱に当たる。ゲームオーバー。

一〇・天体観測

星の綺麗な丘。大人になった妹は天体観測をしている。後輩がやって来る。

後輩 お疲れ様です。

妹 あ、おつかれ。そっちは見えた？

後輩 かなり。

妹 いいね。

後輩 モモさんは何見てるんですか？

妹 犬。

後輩 犬？

妹 こいぬ座。

後輩 ああ。

妹 好きなんだよね。

後輩 そうなんですか？

妹 こいぬ座って、おおいぬ座の前に出るからこいぬ座って名前になったんだって。

後輩 へー。

妹 なんか、そういうかわいそうなところが好き。

後輩 へー。

妹 まあ、それなりに有名なんだけどね。

後輩 ホント詳しいですね。

妹 そんなことないよ。

後輩 ずっと星好きなんですか？

妹 高校ぐらいからだよ。ちゃんと見るようになったのは大学からだし。

後輩 そうなんですか？

妹 それまでは、お笑いやってた。

後輩 お笑い？

妹 同級生とコンビ組んで。

後輩 すごーい。

妹 で、文化祭出ただけどめっちゃスベって(笑)

後輩 ああ(納得)

妹 え？

後輩 で、なんで星に？

妹 あー、なんか高校の先生で星の話が大好きな人がいて、それでなんとなく興味持って。

後輩 へー。意外。

妹 意外？

後輩 ずっと好きなんだと思ってました。

妹 うーん、天の川の絵とかは描いてたけど、

後輩 絵ですか？

妹 うん。家の堀に。

後輩 堀？

妹 お姉ちゃんが好きだったんだよね。

後輩 堀？

妹 それにしてもやっぱ冷えるね。

後輩 じゃあアタシなんか飲み物買ってきますよ。

妹 ありがとー。

後輩、去る。

妹、空を見上げる。空にはたくさんの星が輝いている。

二・大犬と子犬と姉と妹

空に浮かぶたくさん星の星。星たちは一つ、また一つと、その輝きを増していく。星の輝きが強くなると、そこには宇宙が生まれる。宇宙は静かに広がっていく。その中で二匹の犬が遊んでいる。大きい犬と小さい犬。おいぬとこいぬ。もしくは姉と妹。二人の記憶と宇宙が重なる。彼女たちの思い出。芝生の上を無邪気に転げまわる二人。雨の中、水たまりを踏む二人。公園のトンネルに隠れて息を潜め合う二人。誰も知らない歌を歌う二人。様々な思い出がそこにはある。そして、だんだんと二人は成長する。

一〇・迷子

と、天狗とカブトムシがくる。

カブト 天狗ちゃん。

天狗 ん？

カブト ここどこっすかね？

天狗 宇宙とかじゃない？

カブト 迷っちゃいました？

天狗 アレ星かな？

カブト めっちゃ光ってますね。

天狗 きれいだねー

カブト 夜までに帰れますかね？

天狗 無理かもね。

カブト 怒られちゃいますよ。

天狗 えー

カブト ってか、よく俺たち生きてますよね。

天狗 まあ、妖怪と虫だし。

カブト 虫は死ぬでしょ。

天狗 ヘラちゃんさ、

カブト はい？

天狗 やっぱファミコンもらっといたほうが良かったかな？

カブト あー

天狗 もらう流れだったよね。

カブト でも、やっぱ、うちテレビないし。

天狗 そうだよねー。使えないもんね。

カブト 電気もないし。

天狗 確かに。

カブト あと、ヘラちゃんじゃないです。

天狗 あ、ごめん。

間。

天狗 そこ、そんなこだわる？

2匹、そのまま宇宙を泳ぎながら遠くへ去る。

田口・犬の下には、川が流れて。

少女、家の塀に絵を描いている。たくさんの星でできた流れるような天の川。
妹、やって来る。

妹 ただいまー。って、お姉ちゃん何やってるの？

少女 いや、久しぶりに絵描こうと思って。

妹 お父さんに怒られちゃうよ。

少女 かもね。

妹 かもねって、、

少女 前も怒られたよね。

妹 もうしないって約束したじゃん。

少女 前よりうまく描くから大丈夫。

妹 そういう問題じゃないでしょ。

少女 モモも一緒に書く？

妹 描かないよ。

少女 絵、好きでしょ。

妹 好きだけどさー。

少女 じゃあいいじゃん。

妹 うーん。

少女 そこに刷毛あるから。

妹も絵を描き始める。

妹 これ何の絵？

少女 天の川

妹 あー、昔描いたやつだ。

少女 アレはただいっぱい星描いただけだけどね(笑)

妹 天の川かー

少女 織姫と彦星だよ。ロマンチックでしょ。

妹 今の季節だといぬ座とおおいぬ座だけどね。

少女 え、そうなの？

妹 (犬の絵を描きながら)ここら辺にこいぬ座があって、その反対におおいぬ座があるの。

少女 詳しいね。

妹 ちょうどこの前授業でやったから。

少女 そっかー。犬なんだ。全然ロマンチックじゃないね。

妹 犬可愛いじゃん。

少女 可愛いけどさー。もっと乙女チックな方が良くない？

妹 あんな部屋にいて何が乙女なの？

少女 え、

妹 あんな臭い乙女、嫌だよ。

少女 そんな臭い？

妹 甘いのと酸っぱいのと苦いのが同居してる。

少女 甘酸っぱくて、ほろ苦いんだから乙女の匂いでしょ。

妹 お姉ちゃん、なんでそんなポジティブなのに引きこもりやってるの？

少女 なんてだろうね？

妹 そういえばさっきおじさんに会ったよ。

少女 え、

妹 これもらった。

少女 え、いいなー。

妹 お姉ちゃん吸うでしょ？

少女 いいの？

妹 アタシ吸えないし。

妹、タバコを少女にあげる。

少女 おじさんまだアメスピ吸ってるんだ。変わらないね。

妹 クソ不味いからあげるって言ってたよ。

少女 え！？

妹 ホントホント。

少女 だって昔からアメスピだったじゃん！

妹 知らないよー。

少女 うそー、、

妹 お姉ちゃんホントにおじさんのこと好きだったんだ。

少女 え？

妹 あんなテキトーな人のどこがいいの？

少女 そこがいいんじゃない。ミステリアスで。

妹 それ騙されてるよ(笑)

少女 そんなことないでしょ。っていうか、(こいぬ座の絵を指して)さっきから思ってたんだけど、その犬、なんかハチ公っぽくない？

妹 ああ。ハチ公だよ。

少女 え、なんで？

妹 なんか渋谷駅の下って川が流れてるんだって。

少女 そうなの？

妹 先生がこいぬ座の話しながら言ってた。

少女 そうなんだ。

妹 正確にはハチ公の下じゃないし、今は下水らしいけど。

少女 どんどんロマンチックじゃなくなる。

妹 でも、お姉ちゃんにぴったりじゃない？ 下水臭いし。

少女 臭くないし！

妹 (笑)

少女 臭くないから。

妹 わかったよ(笑) でもさ、

少女 ん？

妹 これ描いてどうするの？

少女 どうするんだろうね。

妹 意味ないの？

少女 意味ないかも。

妹 そっか。

少女 うん。

妹 まあ、でも、元氣そうでなんかよかった。

少女 え？

妹 ん？

少女 心配してくれてたの？

妹 まあ、家族だし。

少女 そっか。

妹 うん。

少女 ありがとう。

妹 ……

少女 ……アタシさ、

妹 ……

少女 スペランカーより強くなるから。

妹 は？

少女 スペランカー。知らない？

妹 知らない。

少女 なんでみんな知らないの？

妹 何の話？

少女 スペランカーはすごい弱い。

妹 どのくらい？

少女 これくらいの段差で死ぬ。

妹 いや、死なないでしょ。

少女 いや、死ぬ。

妹 嘘だー。

少女 いや、マジで。

妹 死なないでしょ。

少女 死ぬんだって。

妹 いやいや。

二人の絵は壁一面に広がっていく。そのうち絵は本当の天の川になって、た
くさんの星を巻き込んで流れはじめる。こいぬ座のプロキオンも、おおいぬ
座のシリウスも、全ての星が輝いて、渋谷の街に星が降る。

おしまい